

| | | | | | | | |
|---|--|-----|-----|--------------|---------|-------|----|
| 授業科目 | 地域医療・保健特講 Medical and Health Management | | | 担当教員 | 中村 龍文 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 1・2年 前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | |
| <p>本特講では、福祉と連携した医療・保健の分野において、近年特に社会問題化している高齢者および難病に焦点を当てて展開を進めていく。高齢者における生理学的な特徴や高齢者に多い疾病および難病に関して、特定のテーマに従って、理解を深め、1)実務家による授業 2) 実地の授業 3) 双方向性の授業 も取り入れ研究を進めていく。本講義により、多様な生活課題を抱える人々の人権を尊重し、人々のウェルビーイング実現へ向けての社会をデザインできる高度な専門的知識・技術・倫理と実践能力、研究能力を身につけることができるようになることが目標である。</p> | | | | | | | |
| 観点 | 学生の授業における到達目標 | | | 評価手段・方法 | | 評価比率 | |
| 関心・意欲 ・態度 | 地域の医療・保健の現状に対して自分の考えを述べる事ができる。 | | | 授業態度・授業への参加 | | 20% | |
| 思考・判断 | 高齢者の生理機能、かかり易い疾患および難病について類別できる。 | | | 課題レポート | | 30% | |
| 技能・表現 | 医療や保健に関する専門的な用語に対して、正確に説明できる。 | | | 小テスト | | 20% | |
| 知識・理解 | 医療・保健分野の色々な場面で、援助者としての支援の方法を説明できる。 | | | 受講者の発表(プレゼン) | | 30% | |
| 出席 | | | | | | 受験要件 | |
| 合計 | | | | | | 100% | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>「定期テスト」は実施しない。「授業内レポート」で随時授業中に課した課題を評価する。「授業外レポート」も同様である。「授業態度・授業への参加」は、授業中の熱意、質疑・応答の内容等によって評価する。「受講者の発表」は、与えられた課題に対する授業外レポートを作成し、プレゼンテーションを行うものである。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>授業は、とくに高齢者と疾病および難病の問題、地域保健の問題について、原則的には講義の形式をとるが、院生各自の発表・ディスカッションも可能な限り取り入れ、双方向性の授業を実現したい。さらに、より現場に即した理解を深めるために実務家による授業および実地の授業を取り入れる。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：特に指定しない。必要なものは適宜紹介する。 参考書：特に指定しない。必要なものは適宜紹介する。</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <p>次回の授業テーマについては、概要を自分なりに大まかに掴んできて欲しい。事前学修での疑問点は、講義のときに質問して必ず解決するとともに、いくつかの文献を調べたり、公的な機関のホームページで最新の情報を活用して欲しい。</p> | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|------------------------|--|---|
| 1 | 加齢に伴う身体的・精神的・心理的变化 | 高齢者での内部環境保持能力、予備力、内部機能、運動機能、防衛機能、適応力などの様々な機能の低下と、それぞれの他覚的・自覚的身体機能の変化について考察する。さらに加齢に伴う知能の変化、精神的・心理的变化に影響する因子について考察する。 | 加齢に伴う身体的・精神的・心理的变化の復習および認知症の予習 |
| 2 | 高齢者の疾病(1) | 高齢者で近年特に問題となっている認知症についてその病態、診断法、治療法、予防法について考察する。 | 認知症についての復習および高血圧・虚血性心疾患・脳血管障害の予習 |
| 3 | 高齢者の疾病(2) | 高齢者で多く見られる疾患を中心に高血圧、動脈硬化に起因する虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)および脳血管障害について、最新の診断法、治療法、予防法を救急の対策も含めて考察する。 | 高血圧・虚血性心疾患・脳血管障害の復習と呼吸器疾患の予習 |
| 4 | 高齢者の疾病(3) | 呼吸器疾患、とくに高齢者の死因で問題となる肺炎や慢性閉塞性肺疾患(COPD)の最新の診断法、治療法、予防法について考察する。 | 呼吸器疾患の復習と消化器疾患の予習 |
| 5 | 高齢者の疾病(4) | 消化器疾患、とくに高齢者に多い消化管の疾患、肝臓・胆嚢・膵臓の各疾患について、最新の診断法、治療法、予防法について考察する。 | 消化器疾患の復習と腎・泌尿器科疾患の予習 |
| 6 | 高齢者の疾病(5) | 腎・泌尿器疾患、とくに高齢者に多い前立腺の疾患、各種腎炎、腎不全、近年増加している糖尿病腎症について、最新の診断法、治療法、予防法について考察する。 | 腎・泌尿器科疾患の復習と筋・骨格系疾患の予習 |
| 7 | 高齢者の疾病(6) | 筋・骨格系疾患について、高齢者で特に問題となる各種の神経・筋疾患、変形性関節症に代表される各関節疾患、骨粗鬆症、骨折の問題点につき考察する。 | 筋・骨格系疾患の復習と認知症医療の問題点についての予習 |
| 8 | 認知症の理解と対策 [双方向] | 認知症医療について問題点を提起し、学生と双方向の授業を展開する。 | 学生と双方向の授業を通しての問題点の復習と難病についての予習 |
| 9 | 難病の理解と対策(1) [実務家] | 特に高齢者に多発する難病について概説頂く。 | 実務家による授業を通しての難病についての復習とその問題点に対する予習 |
| 10 | 難病の理解と対策(2) [実務家] | 難病の概要、在宅ケアの対象となる難病について、国、自治体や保健所の難病対策事業についてその現状と問題点について考察する。 | 実務家による授業を通しての難病対策事業についての復習とその問題点解決に向けての予習 |
| 11 | 難病の理解と対策(3) [双方向] | 種々の難病の医療について問題点を提起し、学生と双方向の授業を展開する。 | 難病医療についての双方向の授業についての復習と高齢者についての地域医療の実態についての予習 |
| 12 | 地域高齢者医療・保健(1) [実務家] | 高齢者の生活機能(ADL)、生活の質(QOL)に関して、老人医療費や介護保険の現状と問題点、地域包括ケアシステムの実情について地域医療関係者に講義頂く。 | 高齢者の地域医療の実態についての実務家による授業の復習と高齢者施設についての下調べ |
| 13 | 地域高齢者医療・保健(2) [実地] | 高齢者施設を見学し、その実態と問題点について学ぶ。 | 実地の授業の復習と終末期医療の予習 |
| 14 | 終末期医療 [双方向] | 終末期介護、在宅ホスピスケア、家族への支援など終末期医療での数々の問題点を明らかにし、今後の対策を検討する。 | 実務家による授業の復習とここまでの本講義について振り返り |
| 15 | 本特講のまとめ [双方向] | 全体を振り返って、本講義の達成点・反省点を学生との双方向で検討しあう。 | 全体のまとめの復習を行う。 |